



ヤングスタッフ×未来屋書店 ビブリオバトルを開催しました！

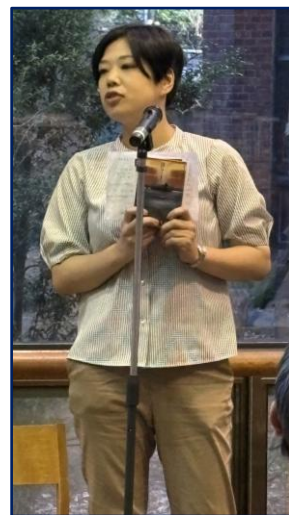
8月24日（日）、閉館後の中央図書館にてビブリオバトルを開催しました。
ヤングスタッフ4名、書店員2名がそれぞれのおすすめ本を紹介し、観戦者
17名の投票により「最も読みたくなった本」＝チャンプ本を決めました。



会場の様子



ヤングスタッフ



未来屋書店
書店員

年齢も好きなジャンルも様々なバトラーから、いずれも熱くおすすめされた
6冊のなかから見事チャンプ本に選ばれたのは……

『人間たちの話』（柞刈湯葉／著、早川書房） でした！

投票はなんと3冊が同数票を獲得し、決選投票を行う大接戦。

惜しくもチャンプを逃した本も、どれも読んでみたくなるような素晴らしい
バトルでした。 **ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！**

紹介された本



『「嘘をつく」とはどういうことか』

池田 喬／著 筑摩書房 2025.1



『JK、インドで常識ぶっ壊される』

熊谷 はるか／著 河出書房新社 2021.12



『生活はクラシック音楽でできている』

渋谷 ゆう子／著 笠間書院 2024.1



『渚にて 人類最後の日』

ネヴィル・シュート／著 佐藤 龍雄／訳

東京創元社 2009.4



『日本のなかの中国』

中島 恵／著 日経 BP 2024.9



『人間たちの話』

柞刈 湯葉／著 早川書房 2020.3

